

芸術・音楽Ⅱ	2年次以上	2単位	選択履修
使用教科書 『MOUSA 2』（教育芸術社）	副教材等 なし		

1. 学習目標

歌唱、器楽などの表現活動と鑑賞や創作の活動を通して技術の向上を図り、個性豊かな表現能力を身につけ、音楽を愛好する心情を育てる。

2. 指導の重点

生涯学習の基本となる力を養うために、歌唱・器楽の演奏に必要な知識・技術の習得を目指す。音楽的視野を広げるため、多様な音楽を理解する心情を育てる。

3. 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌う活動に関心を持ち、曲想に適した発声で歌うことができる。基本的な視唱、視奏力を身につけ、演奏することができる。音楽の特徴を理解している。	音楽の構成要素を知覚し、その関わりを考え、表現活動に生かしている。	音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱・演奏・創作活動に取り組もうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は、次の3観点から行う		
知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点 曲種による歌唱(器楽)表現の特徴について理解している。伴奏や他者との調和を意識して歌う(器楽演奏する)技能を身につけて表現している。音楽の多様性について理解している。	音楽の構成要素を知覚し、その特徴や曲想との関わりを感受し、演奏・創作表現を創意工夫している。	学習に取り組む準備ができている。技能向上を目指し、課題に取り組んでいる。
以上の観点を踏まえ、授業中の活動内容の観察、音楽表現実技テスト、ワークシート等提出内容の確認・分析などから、評価します。		

5 学習計画

月	単元名	学習活動	時間	評価の観点	評価方法
4 5 6	音楽表現の基礎	楽譜の正しい読み方を身につけ、演奏・鑑賞活動に結びつける。言葉の発音、姿勢や呼吸など身体の使い方に留意し、曲想に適した発声を工夫して歌う。様々なジャンルの音楽を鑑賞し、特徴や時代背景を知る。	20	a c	観察・聴取 ワークシート(分析)
7 9	音楽の調和	独唱・重唱曲について音楽の構造を理解しながら、伴奏や他者との調和を意識して演奏する。アンサンブル活動をとおして、主旋律・対旋律・和声の役割を理解する。リズムの特徴を生かして、曲にアドリブなどの創作を加え、変化を楽しむ。	15	a b c	
	前期試験	<歌唱>日本の歌曲、日本のポップス各1曲 <器楽>リズムアンサンブル		a b c	演奏
10 11 12	音楽の多様性	和楽器の演奏を通して、諸外国の音楽との違いや特徴を理解する。これまでの学習経験を生かして演奏発表の形態、楽曲を選択し、表現の技術を高める。	20	a b c	観察・聴取 ワークシート(分析)
12 1 2	作曲家の生涯と作品	作品鑑賞や作曲家について調べることで、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解する。1人の作曲家について詳しく学習し、作品を演奏したり、音源を紹介したりしながら調べたことを発表する。	15	a b c	
	後期試験	<表現>選択曲による歌唱、または器楽演奏		a b c	演奏

計70時間(50分授業)

6 課題・提出物等

授業の進め方、課題・提出物など
教科書を中心に表現、鑑賞、創作活動をする。課題、ワークシートは丁寧に取り組み、必ず提出すること。

7 担当者からの一言

音楽Ⅱでは歌唱、器楽、鑑賞、創作など幅広く学びます。苦手な分野があっても積極的に取り組んで下さい。

